



MERCURY

学校法人 専門学校
専門学校マーキュリー情報コミュニケーションカレッジ

令和6年 長南町空き公共施設活用検討委員会 資料

令和6年11月19日

株式会社マーキュリー 教育事業部

一般

© 2024 Mercury Inc.

旧豊栄小学校施設 利活用について

【沿革】

○株式会社マーキュリー 教育事業

2017年4月 通信制高等学校 事業開始（函館、新潟、浦添）

2020年4月 長南町と賃貸借契約締結

2021年4月 通信制高等学校 拠点増（長南、東京） 全国で5カ所運営 生徒数 496名
精華学園高等学校 長南茂原校

2023年4月 通信制高等学校 拠点増（海浜幕張） 全国で6カ所運営 生徒数 770名

2024年4月 通信制高等学校 拠点増（立川、横浜） 全国で8カ所運営 生徒数 845名（9月末）

○学校法人帝南学園 専門学校運営事業

2019年 千葉県へ認可申請に関する相談開始
長南町と旧豊栄小学校の施設利用について相談

2022年 3月29日 学校法人帝南学園 寄附行為認可
3月29日 専門学校マーキュリー情報コミュニケーションカレッジ 設置認可 定員250名
未来創造IT学科 （昼間、通信制）
未来観光ビジネス学科（昼間、通信制）
文化芸術学科 （昼間）

* 株式会社マーキュリー、学校法人帝南学園ともに長南フェスティバルに参加

旧豊栄小学校施設 利活用について

【生徒数、職員数推移】

○株式会社マーキュリー 教育事業

精華学園高等学校 長南茂原校

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
生徒数	1	7	12	19
教職員数	4	4	5	4

○学校法人帝南学園 専門学校マーキュリー情報コミュニケーションカレッジ

	2022年度	2023年度	2024年度
生徒数	2	39	101
教職員数	11	15	21

* 生徒数、教職員数は、学校基本調査にて報告数字となります。



旧豊栄小学校施設 利活用について

【運営の現状、課題として】

○精華学園高等学校 長南茂原校

長南茂原エリアを中心に、多様な生徒の受入れを行っている。

○学校法人帝南学園 専門学校マーキュリー情報コミュニケーションカレッジ

<学校運営に係る周辺状況の現状>

- ・18歳人口の減少、大学への進学率の上昇し、令和6年度学校基本調査によると54.1%で、過去最高を更新。専修学校の進学率は、24.6%。
- ・日本の労働人口の減少。コロナ禍から観光業界は大きな打撃を受けている。
コロナ明けのインバウンド需要が戻りつつあるが、ホテル業界などは深刻な人手不足に陥っている。

<課題>

- ・高校生の進学状況を踏まえて、生徒募集について
- ・生徒・教職員の長南町へ転居する際の転居先住居について
- ・通学時間帯のバスの運行状況（登下校時のバスの本数不足）について
- ・生徒の昼食時の食事の手配について



旧豊栄小学校施設 利活用について

【運営課題に対して】

○学校法人帝南学園 専門学校マーキュリー情報コミュニケーションカレッジ

- ・日本人の生徒募集だけでなく、留学生の受入れを積極的に展開
→理由として、留学生は、転居を伴うことから長南町への人口増へつながる。
観光ビジネス学科への留学生の興味関心が高い。
日本の労働人口の減少から、外国人労働者、留学生の日本での就労者数の増加が見込まれる。
新設の学校であることから、留学生の受入れ、その後の就職の安定した実績を築くことにより、注目される学校へ。
- ・長南町への転居先確保が難しいことから、現在は、茂原駅周辺へ転居促進
- ・通学時間帯のバスの運行状況（登下校時のバスの本数不足）について、小湊鐵道株式会社へ相談をしているが、運転士不足により、増便等の対応が難しいとの回答あり
→バスの増便等ができないことから、本校への登校日を設定し、オンライン授業も取り入れたハイブリット型の授業を展開することで登校日数のコントロールを実施。
- ・昼食時の手配は、駅前のコンビニ等を利用。
週1日（水曜）茂原市緑ヶ丘にあるパン屋の移動販売あり



旧豊栄小学校施設 利活用について

【今後の展開として】

○株式会社マーキュリー 新規事業展開検討

- ・株式会社ループインターナショナル（株式会社マーキュリー70%子会社）

事業内容：熱帯魚のEC販売事業展開について

ふるさと納税の返礼品として（メダカ）

- ・株式会社HAKUTOクリーニング（株式会社マーキュリー100%子会社）

1979年千葉県夷隅郡（現いすみ市）にて布団・絨毯に特化したクリーニング工場として開業。

クリーニング店の窓口から順調に信頼を頂き、徐々に売上規模拡大。

千葉県内でも他社に先駆けて絨毯の丸洗いを実施。

* 新規事業の展開については、長南町企画財政課へ相談し、長南町の許可を得てから展開

○学校法人帝南学園 専門学校マーキュリー情報コミュニケーションカレッジ

- ・収容定員数の増加申請予定 収容定員数 250名 → 290名

未来観光ビジネス学科の留学生の志願者が増えているため、千葉県へ相談中